

MC① 伝えたいこと：ごあいさつ

こんにちは～～～！

本日は「3種のオーボエと3種のトランペット、ピアノで奏でる映画音楽」に遊びに来てくださり、本当にありがとうございます！

今日は全部で7種類の楽器と、僕たち3人のミュージシャンで、さまざまな映画音楽をお届けします。

こうしてたくさんの皆さんと一緒に音楽の時間を過ごせること、僕たちもとっても楽しみにしておりました！

途中、それぞれの楽器の紹介なんかも交えながら、楽しい時間にしていきたいと思いますので、ぜひ最後まで一緒に楽しんでいきましょう～！

ということで！

トランペット、坂口草太！

ピアノ、穂積さゆり！

そしてオーボエ、太田駿祐！

今日はどうぞよろしくお願いしまーす！

さて、オープニングは「ONE PIECE FILM RED」より「新時代」でした～！

僕ら3人の自己紹介代わりになるような、オーボエ、トランペット、ピアノ、それぞれが主役になるアレンジでお届けしました♪

そして続いては、「美女と野獣」。

ベルと野獣が大広間でダンスをする、作品を象徴する名シーンを彩る一曲です。

オープニングとはガラリと雰囲気を変えて、今度はしっとりとした響きをお楽しみください

ありがとうございます！「美女と野獣」でした。

さて！今日はたくさんの種類の楽器が登場しますが、皆さんの中には、そもそも「オーボエとかトランペットって、どんな楽器なの？」という方もいると思いますので、ここで簡単にご紹介しますね♪

まず、トランペットとオーボエ。

見た目はまったく違うんですが、実は共通点があります。

それは、どちらも息を「ふううう〜」っと入れて音を鳴らす楽器だということ。こうして息を使って音を鳴らす楽器を、大きくまとめて「管楽器」といいます。

ただ、同じ管楽器でも、大きな違いが2つあります。

まず、1つめ！この2つは見た目も音色もぜんぜん違いますよね。

トランペットはピカピカの金属でできていて、オーボエは黒い木でできています。

そして、もっと大きな2つめの違いが**「音の鳴る仕組み」**。

そもそも音というのは、何かが振動することで生まれます。身近なものでいうと、僕たちの声も、喉にある「声帯」が震えることで音になっています。

じゃあ、トランペットとオーボエでは何が震えているのか？

これ、ものすごく簡単に言うと……

トランペットは、唇がブルブルブル〜っと震えています。

ということで、坂口くん、ちょっとやってみましょう。

【バズィング実演】こんな感じです。笑

それに対してオーボエは、唇ではなくて、楽器の先端についているこの小さな**「リード」**という部分が震えています。

【リード実演】

同じように息を吹き込んでいるのに、震えているものが違うから、こんなに違う音色が生まれるというわけなんですね。

今日はぜひ、そんなトランペットとオーボエの音色の違いにも注目しながら楽しんでみてください♪

それでは次の曲は、トランペットのソロです。

ここからは坂口くんにもバトンタッチしまーす！

【バトンタッチ】

MC③ 伝えたいこと：ダモーレとコルネットについて

トランペットのソロで「ガーネット」、お届けしました。

さあ、次にお届けするのは「ニュー・シネマ・パラダイス」なんですが……

次は「オーボエ・ダモーレ」と「コルネット」という組み合わせで演奏します。
せっかくなので、それぞれどんな楽器なのか簡単にご紹介しますね～。

じゃあまずは、コルネットから。

坂口くん、解説よろしく♪

【坂口 コルネット解説・2分くらい】

はい、ありがとうございます！

じゃあ続いては、オーボエ・ダモーレ。

これ、実はなかなか生の音色を聴く機会がない楽器で…

僕は「絶滅危惧種の楽器」と呼んでいます。笑

今からおよそ300年前、バロック音楽の時代に生まれて、当時は大活躍していた楽器なんですが、その後だんだん使われる機会が減って、一度は忘れられかけた歴史を持つ楽器です。

現代でも登場する機会は本当に少なくなってしまった楽器なのですが、オーボエとはまた違った、やわらかくて素朴な響きが魅力で、僕はこの楽器が大好きです。

特に札幌ではこうやってじっくり音色に触れる機会もなかなかないと思うので、ぜひ耳を澄ませて聴いてみてください。

そして今日をきっかけに、**「オーボエ・ダモーレ」っていう楽器があるんだ！**
って、名前だけでも覚えて帰ってもらえたらうれしいです。

それでは、オーボエ・ダモーレとコルネットでお届けします。

「ニュー・シネマ・パラダイス」。

MC④ 伝えたいこと：イングリッシュホルンとフリューゲルホルンについて

オーボエ・ダモーレとコルネットの音色で、「ニュー・シネマ・パラダイス」をお届けしました。

さて！次にご紹介するのは、「イングリッシュホルン」と「フリューゲルホルン」です。

この2つ、どちらも名前に「ホルン」って入ってますよね。

「ホルン」と聞くと、皆さんたぶん、あのグルグル巻きの、かたつむりみたいな金管楽器を思い浮かべるんじゃないでしょうか？

なので「ホルンなのに全然見た目が違うんだね！」と言われることもあるんですが、実はこの“horn”という言葉、もともとは「動物の角」や「角笛」を意味する言葉で、昔からいろいろな楽器の名前にも使われてきた言葉なんですよ。

なので、名前に「ホルン」と入っていても、必ずしも皆さんが想像するあのホルンと同じ仲間、というわけではないんですよ。

さて！じゃあまずは、イングリッシュホルンについてご紹介しますね。

今日登場するオーボエの仲間の中では、一番大きな楽器です。

同じような仕組みの楽器なら、基本的には管が長くなるほど音も低くなるので、このオーボエ3兄弟の中では一番低い音が出ます。

この楽器もオーボエに比べると珍しいんですが、絶滅しそうなオーボエ・ダモーレとは違って（笑）、それなりに活躍する機会があります。

とても独特な音色を持っていて、その音色を活かしてソロを担当することも多い楽器です。

今日はこのあと「パイレーツ・オブ・カリビアン」、そして後半の「ハリー・ポッター」「フレンド・ライク・ミー」にも登場しますので、お楽しみに♪

ということで、続いてフリューゲルホルンの紹介。
坂口くん、よろしく～！

【フリューゲルホルン紹介】

ということで！

前半最後にお届けするのは、「パイレーツ・オブ・カリビアン」より「彼こそが海賊」です。

後半はまず、坂本龍一さんの「Merry Christmas Mr. Lawrence」、そして「ハウルの動く城」より「人生のメリーゴーランド」を続けてお届けしました！
後半も引き続き、楽しく映画音楽の時間をお届けしてまいります。最後までどうぞよろしくお願いしまーす！

さて、僕たち3人、それぞれ札幌を中心に活動している音楽家なのですが……
ここでちょっぴり、今後の演奏会についてお知らせさせていただきます！

まずは、ピアノの穂積さゆりから～！【さっちゃん／1分ちょい】

ありがとうございます！

では次に僕から、「ソロを愉しむオーボエアンサンブル」という演奏会をご紹介します
してください～！9月27日、日曜日、札幌時計台ホールです！

元札幌交響楽団首席オーボエ奏者の岩崎弘昌先生をお迎えして、札幌で活動する5
人のオーボエ奏者ととともにアンサンブルをお届けします。
メンバーそれぞれのお気に入りのソロ曲を、オーボエアンサンブルを伴奏にして演
奏するという、他ではなかなか聴けないちょっと面白い演奏会です♪

こないだ東京で活躍している友人のオーボエ奏者に会ったのですが、その時にも
「あんなコンセプトのオーボエの演奏会、東京でも聞けないよ～！わざわざ聴きに
行きたいくらい！」と言われたので、すごく面白いと思います。笑

僕はオーボエ・ダモーレの協奏曲でソロを担当しますので、「もっとオーボエ・ダ
モーレの音、聴いてみたい！」という方は、ぜひ遊びにいらしてくださいね♪

では最後、坂口くんお願いします～！【坂口／1分ちょい】

ありがとうございます！

それぞれのチラシに、日時やチケットの購入方法なども載っていますので、ぜひぜ
ひ僕たちそれぞれの活動も応援していただけると嬉しいです♪

ということで！演奏に戻りましょう！

次にお届けするのは、「鬼滅の刃」シリーズより「竈門炭治郎のうた」。

社会現象にもなり、今なお劇場版シリーズが続く「鬼滅の刃」。

主人公・竈門炭治郎の強い意志とやさしさを歌った一曲で、その印象的なメロディ
ーは作品の世界を彩る音楽としても親しまれています。

今回は、オーボエとフリューゲルホルンの音色でお届けします。

「竈門炭治郎のうた」。

ありがとうございます！

オーボエとフリューゲルホルンの音色で「竈門炭治郎のうた」、お届けしました！

さて、僕ら3人、トランペットとオーボエ、ピアノという編成で活動しているんですが……この組み合わせ、実はめちゃくちゃ珍しいんです。

僕らは活動を始めて今年で3年目なんですが、継続してこの編成で活動しているアンサンブルって、日本全国を探してもかなり珍しくて。

しかも、こうやってクラシック以外の曲もいろいろ演奏しているところとなると、僕らが調べた限りでは、本当に数えるほどしかありません。笑

で、珍しい組み合わせって、こうして皆さんにちょっと変わった響きを楽しんでもらえるという魅力がある一方で……

僕らには深刻な悩みがあります。

なんせ、楽譜がないんですよ。笑

これが本当に大変で。

なので演奏会をするたびに、自分たちで楽譜を作る必要があって、今回も「新時代」「美女と野獣」「パイレーツ・オブ・カリビアン」「竈門炭治郎のうた」、そしてこのあと演奏する「ハリー・ポッター」と「フレンド・ライク・ミー」は、全部自分たちで編曲しています。

しかも曲によっては、何十人もいるオーケストラで演奏する音楽を、たった3人でなんとかしなきゃいけない。笑

編曲する方も大変ですし、演奏する方も大変です。笑

そして今回の演奏会の中で、編曲も演奏もダントツで難しいのが……

次の**「ハリー・ポッター」**です。笑

ということで、実際に編曲してくれた坂口くん。

どの辺が大変だったのか、そしてどんなところを聴いてほしいのか、ちょっと教えてください！

【坂口・苦労話&聴きどころ】

ありがとうございます！

さあ、果たしてどんな編曲になったのでしょうか……？

「ハリー・ポッターと賢者の石」を彩る名曲たちを、3種のオーボエ、3種のトランペット、そしてピアノの音色でお楽しみください。

「ハリー・ポッター・メドレー」。

MC⑦ 伝えたいこと：クリスマスの告知

ありがとうございます！坂口くん渾身の編曲による「ハリー・ポッター」をお届けしました！

アレンジはもちろんなんですが、1曲の中でこんなにいろんな楽器をとっかえひっかえ持ち替えて演奏するのって、僕ら自身、このアンサンブルくらいなんですよね。笑

皆さんにとっても、なかなか珍しい光景だったんじゃないかな～と思います。

さあ！楽しい映画音楽の時間も、次の曲で最後となりました。

……が！ここで僕ら3人から、大事なお知らせがあります！

なんと！

僕らの第4回となるコンサートが、12月25日、クリスマス当日に開催決定しました～！わー！ぱちぱち～！

その名も、「時計台クリスマスコンサート」！

今日のプログラムにもチラシが挟まっています♪

トランペット、オーボエ、ピアノで、誰もが知っているクリスマスソングや、クリスマスといえば！のクラシック「くるみ割り人形」などなど。

皆さんのクリスマスが幸せな時間になるようなプログラムを予定しております～！

ところで皆さん。

12月25日、クリスマス当日の夜のご予定は、もうお決まりでしょうか？

まだ決まってないよ～！という方。きっとたくさんいらっしゃると思います。笑ぜひ！皆さんのクリスマスの夜を、僕ら3人と一緒に過ごしていただけないでしょうか……！

というのもですね。

本音を言うと、ほんととは、ほんとうは、、クリスマス前の日曜日とかにやりたかったんです。

でも……会場の抽選に外れまして。結果、クリスマス当日になりましたwww

なので僕ら今、お客さんに来てもらえるのか、めちゃくちゃ！！不安でございます！！笑

今日の演奏会を聴いて、「楽しかった～！」と思ってくださった方がいらっしゃいましたら！

ぜひ！皆さまの！12月25日！クリスマスの夜を！僕ら3人に！預けてください！！

よろしくお願いします！！笑

……ということで。笑

最後は楽しく！盛り上がって終わりましょう～！

映画「アラジン」より、「フレンド・ライク・ミー」！

本日は本当にありがとうございました！

ありがとうございます！！とっても楽しい時間でした～！
皆さんがおうちに帰ったときに、「今日はいいい1日だったな～」と思ってもらえるような時間になっていたら、とってもうれしいです。

僕らも本当に楽しくて、このまま終わるのがちょっぴり寂しいので……
あと1曲だけ、お付き合いいただいてもよろしいでしょうか？笑

ありがとうございます！

じゃあ、アンコールの前にひとつだけお願いがあります。
先ほどもお話ししたように、僕らは今年で活動3年目なんですが、この珍しい編成……とにかく楽譜がないんですよ。笑

なので毎回、「次は何をやろう？」って企画を考えるのもなかなか大変で。
1年目はクラシック、2年目はミュージカル、3年目は映画音楽、そして次はクリスマス。

いろんなテーマで、この3人ならではの音楽をお届けしてきたんですが……
皆さん、次はどんなの聴きたいですか？笑
ぜひ、アンケートで教えてください！

今日の演奏会の感想はもちろん、「こんな演奏会やってほしい！」「こんな曲を聴いてみたい！」というご意見があれば、ぜひぜひ書いていただけるとうれしいです。

実は今回の映画音楽も、次回のクリスマスも、皆さんからいただいたアンケートを参考にして企画しています。笑

アンケートは、プログラムの裏にあるQRコードから回答いただけるほか、紙のアンケートもご用意しています。

僕らもちょっぴりネタ切れ気味になってきましたので……笑
このアンサンブルを、なが～～～く続けていくためにも、ぜひ皆さんのお力を貸してください！

ということで！
改めまして、本日は本当にありがとうございました！

最後は映画「メリー・ポピンズ」より、
「スーパーカリフラジリスティックエクスピアリドーシャス」！

最後まで一緒に楽しんでいきましょう～！